

千八百七十八年五月九日刊行  
横濱「天ヤッパン」へラルド新聞抄譯

新公債



4237



114.  
A 2420



一千八百七十八年五月九日刊行横濱リヤウバ  
ラニ

山口卯吉譯

大正十一年四月  
東京郵寄

新聞社説譯

新公債

日本帝國大藏省が現今世ニ廣告シテ一般ニ募集スル所ノ新公債ニ就テ注視スベキノ要點ハ紙幣一千二百五十万圓ノ公債募集之ニ六未ノ利ヲ附スル事ノ千八百八十年ヨリ以後二十三年間年々抽籤法ヲ以テ之ヲ償却スル事及ビ紙幣ヲ以テ此公債ノ元利ヲ公債所持人ニ仕拂フ事ノ此三事ニ歸スベキナリ。新附公債証券ヲ發行シテ紙幣ヲ收入スルノ計畫ハ此回ヲ以テ第一トナスベカラズ既ニ千八百七十三年ノ頃政府ハ紙幣五十万圓以上ヲ所持スルモノハ年六未ノ利附公債ヲ購賞スルヲ以テシ然ルトキハ年々抽籤法ヲ以テ金貨ニテ之ヲ償却スベキノ旨

大藏省

ヲ公達シテ以テ流通紙幣ノ負額ヲ減少シ其下落ヲ挽回セヨト  
ノ企テリタリ然レ此計画氏情ニ適セスレテ之ニ應ズ  
少ナカリシニヤ千八百七十七年一月ヲ以テ大藏卿ガ自千八百  
七十六年至七十七年豫算ヲ公報スルニ當テ其交換セシ所ノ金  
額ハ僅カニ二百余万円ニ過ギズ而シテ其後自千八百七十七年  
至七十八年豫算ヲ公報スルニ至リテハ其公債ノ金額ハ實ニ抽  
籤ニ因テ減少シタリト至モ流通紙幣ノ金額ハ却テ一億二千一  
百万円ニ達セリ

此時ノ实例實ニ此ノ如シサレバ大藏卿ノ新債募集ノ公告ヲシ  
テ果シテ前途述ブル所ノ數項ニ止マラシメハ其債主ヲシテ意  
ヲ此ニ傾ケシメザルコト千八百七十三年ニ於ケルヨリモ一層  
甚シカラシ我輩私カニ恐ル此公債招募ノ画紙ニ是レノコト  
大藏卿ノ許ル所ノ利息ハ此時ト同様ニシテ極メテ低利ナリ

而シテ千八百七十三年ニ於テハ金貨ヲ以テ償弁スルコトヲ約  
シタレ此此回ノ公債ハ紙幣ヲ以テ償弁スルモノナリ何ヲ以テ  
其償弁ノ紙幣ニ限レルヲ知ル乎布達昏第一條ニ曰ク償却ノ後  
大藏省ノ都合ニ依リ金銀貨若クハ紙幣ヲ以テスベシト今マ  
紙幣ノ價格ハ尙未ニ至ルモ常ニ多少ノ割合ヲ日本市場ニ有ス  
ベキハ疑フベカラザルニ付キ大藏省ニ執テハ最廉ノ貨幣ナ  
紙幣ヲ以テ償弁センコト最モ都合宜シカルベシ是レ我輩ガ其  
所ヲ以テスルニ此回ノ公債ニ就テ万事ヲ委託セラレタル第一  
国立銀行並ニ三井銀行ハ八割(即チ百ニ付キ八十)ノ直段ヲ以テ  
公債証各ヲ發賣スベキノ旨趣ヲ廣告シタリトノ事ナリ是レ蓋  
シニ割ノ割引ヲ以テ世ノ餘財ヲ此公債ニ元入セシムルニ  
ナリト臆測スルニ發セシモノナラシ果シテ然ラバ一千二百五

十萬圓ノ公債悉ク賣却セシムル、モ政府ノ實ニ握取スベキ高ハ  
一十萬圓ナリ然レモ是猶ホ非常ニ低利ナリ況ンヤ三ヶ年其  
元金ヲ償充スルニ着手セザルヤ且ツ政府ハ二十三ヶ年間ニ  
抽籤法ヲ以テ償充スベキ由ヲ云ヘトモ平均ノ年賦ヲ以テ年々  
四萬三千四百七十八圓ヲ償却スベキ事ヲ明言セズ是レ亦大  
藏省ノ都合ニ依テ年々相當ノ金高ヲ抽籤ニ附スベキ見込ナル  
ベケレバナリ

三條實美閣下が先月三十日ニ發行シタル布告ニ於ルニ此回ノ  
公債ハ公益ノ事業ヲ起シ内地ノ物産ヲ盛ニシテ萬國貿易ヲ進  
シムルノ主意ヲ以テ之ヲ募集スルヤ明カナリ然レモ我輩ハ  
尙ニ千八百七十三年ノ布令ガ十分ニ過剩ノ紙幣ヲ流通上ヨリ  
減却シ其殘餘ヲシテ貨幣市場ニ確實不動ノ地位ヲ保シ  
トノ結構至極ナル計畫ヲ実行セントシテ失敗シタルト同ナリ

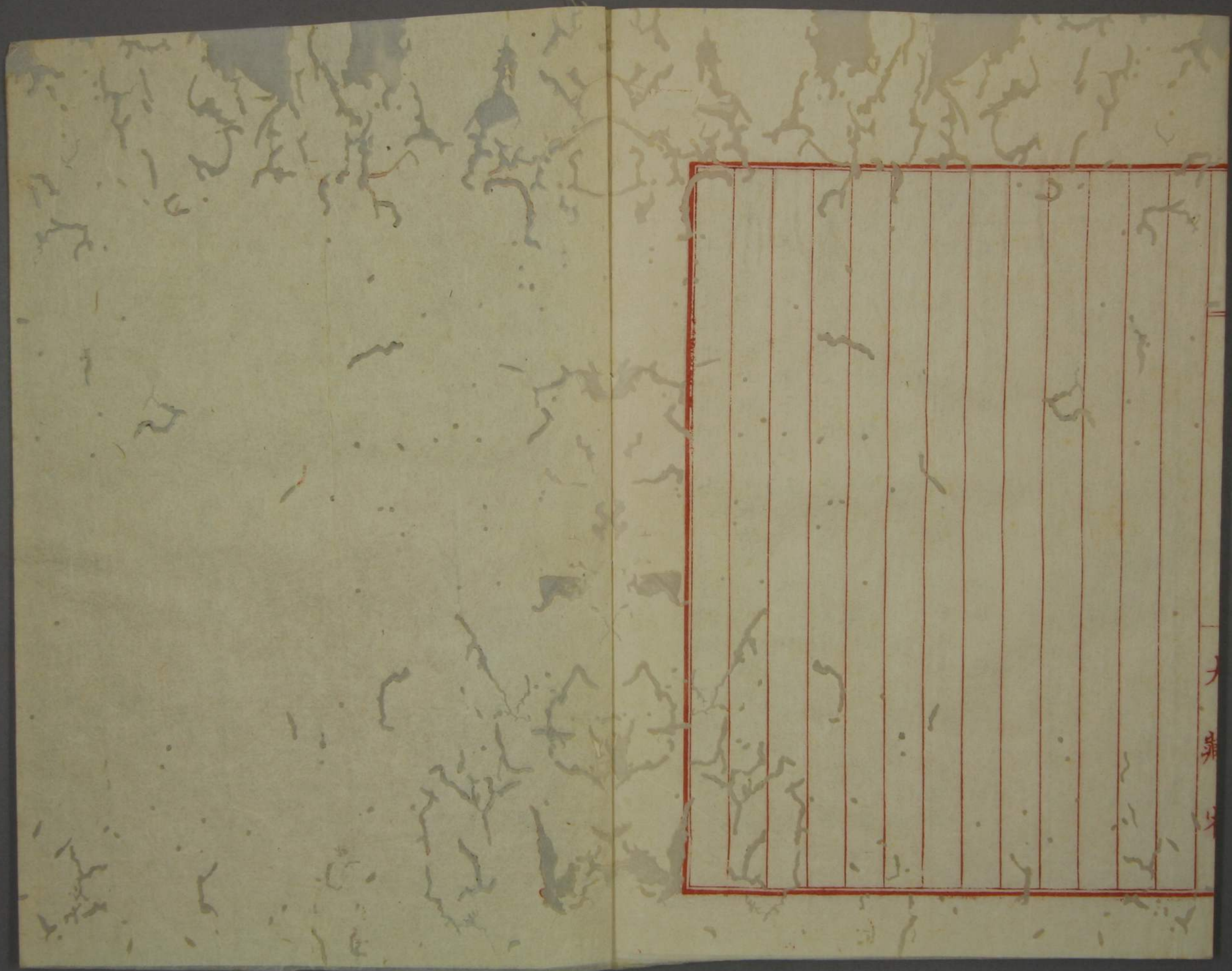
ル財政上ノ妙案ナリト稱賛スルヲ躊躇セザルベシマ世人ノ  
説ク所ヲ聞クニ本願寺ノ兩派ハ二百萬圓ヲ購買ニ其大半  
華族ヨリ出金スベキ見込アル由ナリ

以上記スル所ヲ以テスルニ此公債ハ外國人ヲシテ之ヲ購買ス  
ルノ気念ヲ發セシムルノ好味ヲ有セザルヤ知ルベキナリ外國  
人ニシテ之ヲ購買スルヲ欲セザレバ大藏省ノ布達中ニ外國人  
ニ讓渡シ若ハ質入スルヲ禁ジテ外國人ノ公債所持人トナルヲ  
防クノ文字アルハ到底無用ノ贅弁ニ歸スベシ且ツ效ナキモノ  
ナルベシ何トナレバ此公債ハ持券人ニ任拂ハルベキモノナル  
一萬一之ヲ買受タル外國人ハ其伴頭ヲ銀行ニ送りテ利札ヲ以  
テ半年ノ利子ヲ集メシメ若ハ抽籤ニ當ラバ其元金ヲ請求ラシ  
ムルニ毫厘ノ故障アルベシトモ見エザレバナリ然レモ政府ノ  
之ヲ禁ズルヤ蓋シ二箇ノ深意アリ第一公債所持人ノ權ヲ持許

トナシテ内国人ヲシテ此公債ヲ有スルヲ荣誉アルカ如ク思ハ  
シタル事是レトリ是レ蓋シ深意ノ最モ存スル所歟二負債ア  
ル政府ノ慣手法ナル契約違変ノ事ヲ日本政府力行フニ当テ外  
國ノ公債所持人ハ其要求ヲ屈撓セザルベキヲ面倒ナリト思量  
セシ事是ナリ

日本ノ利附公債ハ本年ノ始メニ當テ二億三千二百三十万二千  
五百二十六円ニ達セリ今マ之ニ新債ヲ加フレバ二億四千四百  
八十万二千五百二十六円ノ金高トナルベシ此回募集セント欲  
スル一千二百五十万円ハ千八百八十年ヨリ二十三年限リニ  
仕册ハルベキモノニシテ華族禄券ノ一億七千四百十四万千八  
百四十円ハ千八百八十二年ヨリ三十一年限ニ皆済スルキモノ  
ナリ此二債ノ内一ハ二十三分ノ一〇一三十分ノ一割令  
以テ平均年賦ニテ償弁セラルベシト仮想スルトキハ千八百八

十二年以後二十ヶ年間ハ年々六百万円餘ノ金額ヲ支出セザル  
ベカラズ然レモ士族ノ禄ヲ兼濟スベキ一付キ政府ノ此支出金  
ヲ維持スベキノ貨幣ヲ發生スベシ然レモ軍事ノ意外ニ發スル  
二年饑歲ノ永続スル若クハ政府ノ奢美嬌逸ヲ壇ニスルボノ事  
ハ元テ此ボノ豫案ヲ轉倒セシムベシ政府モ亦タ一箇ノ私人ト  
同シク負債ヲ為スハ易ク負債ヲ償フハ難シ我輩熟ラ日本ノ國  
情ニ就テ我輩ノ見聞スル所ヲ推シテ其将来ヲ測ルニ政府ノ負  
債ハ減少ノ方向ニ非ラズレテ寧ろ増加ノ點ニ傾ケリト云ハガ  
ルベカラズ



大鼎史

